

目 次

	ページ
山梨県立美術館協議会資料	山梨県立美術館協議会名簿 1
	山梨県立美術館活動報告(概要) 2
	施設利用状況 3
	観覧者数の推移 4
	平成24年度特別展等予定一覧 5
平成24年3月26日(月)	寄贈・購入・寄託作品一覧 7
山梨県立美術館	教育普及事業及び執行状況について 8
	指定管理者活動報告 15

山梨県立美術館協議会名簿

(任期 平成22年10月1日～平成24年9月30日)

区分	氏名	出身分野	役職	勤務先等
委嘱	そね あつこ 曾根 敦子	社会教育関係	山梨県市町村教育委員会連合会代表	笛吹市教育委員
"	うの いちお 宇野 五千雄	社会教育関係	山梨県社会教育委員連絡協議会代表	笛吹市社会教育委員
"	あきやま ひろし 秋山 弘	学識経験者	ミュージアム甲斐・ネットワーク(美術)代表	春仙美術館事務局長
"	つるた いちよう 鶴田 一香	学識経験者	山梨県文化協会連合会代表	山梨県文化協会連合会会長
"	ふるや ともこ 古屋 知子	学識経験者	山梨県立美術館協力会代表	山梨県立美術館協力会会長
"	さいとう たけし 齊藤 武士	学識経験者	山梨美術協会代表	山梨美術協会代表
"	おおむら さとし 大村 智	学識経験者	山梨県総合理工学研究機構代表	山梨県総合理工学研究機構名誉顧問
"	のぐち えいいち 野口 英一	学識経験者	報道関係	山梨放送・山梨日日新聞社社長
"	かねまる やすのぶ 金丸 康信	学識経験者	報道関係	テレビ山梨代表取締役社長
"	すずき いくこ 鈴木 郁子	学識経験者	報道関係	NHK甲府放送局局長
"	うえまつ ますみ 植松 増美	学識経験者	企業関係	アサヒビール(株)名誉顧問
"	わたなべ あやこ 渡辺 文子	家庭教育関係	公募	主婦
"	しまづ くみこ 島津 久美子	家庭教育関係	公募	主婦
任命	おかだ きようこ 岡田 恭子	学校教育関係	山梨県公立小中学校長会代表	甲府市立貢川小学校校長
"	はら まゆみ 原 まゆみ	学校教育関係	山梨県高等学校長協会代表	県立わかば支援学校校長

山梨県立美術館活動報告（概要）

本館に求められるもの

県民の価値観への多様化・余暇活動への関心の高まりとともに、心の豊かさや生きがいを求め、文化活動に対するニーズも一段と幅広いものとなってきている。

このようななか、美術に関する知識・教養の向上を図り、県民文化の発展に寄与することを目的として設置されている山梨県立美術館には、

【展示/見る】幅広いジャンルでの質の高い特別展示とともに「西洋美術」「山梨ゆかりの美術」「日本の近現代美術」などの常設展示の一層の充実

【教育普及/学ぶ】生涯学習の進展や教育課程における総合学習の実施にともなって、より多様な学習機会の提供。そして、一層の本県芸術の振興、芸術活動の場の提供

【付加価値・魅力/憩う】本来の美術館機能に加え、さまざまな付加価値を充実させ、より魅力ある「憩いの場」の創造と提供

◎昨年3月11日の東日本大震災の影響により、館運営の中にも様々な問題を抱えることとなったが、復興を大きなエネルギーに変え、新たな取り組みにより臨機応変な事業展開を行った。

◎平成21年度からは「施設・設備管理」、「受付・監視」、「広報宣伝」の各業務を中心に指定管理制度が導入された。

が求められている。

平成23年度下期の活動状況

【展示/見る】

（常設展）

◎開館以来、ジャン＝フランソワ・ミレーとバルビゾン派の作品を集中的に収蔵し、現在では、国内外より高評価を受けている。これを魅力として集客に努めている。

・ミレー館（常設展示Ⅰ）

◎「ミレー館」の開館以降、集客を維持するための魅力を改めて県外にPRするための積極的な広報活動の実施（JR東日本・JR東海・山梨交通・甲府市観光協会・甲斐市観光課などとの連携）。

◎大手旅行会社との連携による旅行ツアーにより顧客確保の増進に努めた。

（特別展）23年度下期は以下の展覧会を実施。

○川端康成と東山魁夷 9月17日～11月6日

○浅川伯教・巧兄弟の心と眼 11月19日～12月25日

○モーリス・ドニ展 4月16日～6月12日（震災の影響により2012年1月10日～3月4日に順延）

【教育普及/学ぶ】アートレクチャーや講座の充実を図り、より幅広い県民の参加を促進。

ワークショップ指導ボランティアを導入し、より充実した活動へとスキルアップ。

県民のニーズに応じた美術館教育プログラムの作成・提供に務め、世代別・習熟度別プログラムや高齢者身体障がい者への実技講座やレクチャーなどの実施。

学校教育と対応して、児童生徒への実技指導を実施。また、学校教師への実技指導・美術教育に関する積極的な意見交換も行い連携を深めた。

美術館から職員が外に出て、様々な会場でのワークショップや授業などを実施。

（活動内容）

・キッズプログラム（小中学生対応） ・オリエンテーション ・職場体験授業

・学校への出張授業 ・アートボックス貸出 ・施設の貸出 ・造形広場 ・創作教室

・新みなびの実施 ・教師のための鑑賞研究会 ・シルバーアートレクチャー

・体験講座（初心者・障がい者） ・実技講座 ・県民ギャラリー利用者の創作活動PR支援

【付加価値・魅力/憩う】＜魅力あふれる美術館をめざして＞

（質の高いサービス提供）

・美術館ボランティアのスキルアップをめざして研修・学習会を実施。

（様々な付加価値の創造）

・地元音楽家・団体や学校現場との協働によるロビーコンサートを毎週日曜日に開催。

（ゴールドウィーク期間中は毎日開催）（SPS）

・レストランサービスの向上をめざして運営企業と情報交換・協議。

・ミュージアム甲斐イン券並びに定期観覧券所持者への割引サービス。（SPS）

・首都圏からの来館者増を目的に、中央紙への広告の掲載。（SPS）

・芸術文化のまちづくりでNPOを支援＝貫川アートフェスタ後援

（県民との円滑なリレーションシップ）

・本美術館の特色・魅力を十分に伝えられる情報発信・積極的な広報とパブリシティの実施。

・展覧会事業を報道機関と共催、県民への情報提供の機会を大幅に増やすことができた。

平成24年度上期の活動予定

【県民目線を意識した企画】

・新たな集客に向け、アンケートによる調査などを積極的に取り入れ、県民ニーズの把握に努める。

【展示/見る】多様な来館者ニーズに応え、幅広いジャンルの特別展や魅力ある常設展を開催する。

（常設展）作品の保存を考慮したうえで、なるべく幅広い作品を随時展示する。

・常設展示室（ミレー館・常設展示Ⅱ）の年4回の展示替えの実施。

日本画については季節に合わせた作品を展示する。

・学芸員それぞれの個性を生かしてテーマやコーナーを設け、特別展のようなタイトルを付け、興味を持って鑑賞してもらえるよう工夫や配慮をする。

・萩原記念室の模様替え（萩原英雄の人となりや生涯に描いた作品を主体に展示）。

（特別展）

・マリー・ローランサンと東郷青児展 2012年4月28日（土）～6月24日（日）

・増田誠展（仮称） 7月14日（土）～9月23日（日）

・大倉集古館名品展（仮称） 10月13日（土）～11月25日（日）

・十一屋コレクションの名品～野口柿郷をめぐる文人たち～（仮称） 12月15日（土）～2月11日（月）

・特別企画事業山梨県立美術館でミッフィーが待っている！（仮称） 5月31日（木）～8月28日（火）

◎「新収蔵品（古い壺）を話題にしたミレー館」の魅力を中心に打ち出した集客活動の継続。「ミレーの美術館」を新たな客層を発掘しながら県内外に広くPRするための積極的な広報活動の計画の策定と実施。

常設展の新たな広報戦略（SPS、チラシの作成）。

【教育普及/学ぶ】アートレクチャーや講座の充実を図り、より幅広い県民の参加を促進。

ワークショップ指導ボランティアを導入し、より充実した活動へとスキルアップ。

県民ニーズに応じた美術館教育プログラムの作成・提供に務め、世代別・習熟度別プログラムや身体障がい者への実技講座なども実施していく。

教育現場と連携して、年齢ごとの学びの場として会場を提供し、キャリア教室等にも活かしていく。

学校教育と対応して、児童生徒への実技指導を実施。また、学校教師への実技指導・美術教育に関する積極的な意見交換も行い連携を深める。

（活動内容）

◎「博学連携を中心とした学校・社会教育施設との連携強化」

・キッズプログラム（小中学生対応） ・オリエンテーション ・映画会 ・職場体験授業

・学校への出張授業 ・アートボックス貸出 ・施設の貸出 ・創作教室 ・造形広場

・新みなびの実施 ・教師のための鑑賞研究会 ・大人のための美術講座

・体験講座（初心者・障がい者） ・実技講座 ・県民ギャラリー利用者への活動PR支援

◎「地域との連携強化」

・甲府市並びに甲斐市との連携の強化（あらたな連携活動計画の策定）。

・美術館周辺校との連携（新田小学校の総合的な学習の時間を利用したギャラリートークの実施）。

【付加価値・魅力/憩う】美術館への好感度向上をめざして、さまざまな取り組みを実施。

☆質の高いサービスを提供するため、研修の強化などを行い、引き続き美術館ボランティア（案内、解説、情報 etc.）のスキルアップに務める。

☆様々な付加価値の創造に継続して取り組む。

・（SPS）地元音楽家・団体、学校のコーラス部との協働による週末のロビーコンサートや小イベントを継続して実施。

・ミュージアムショップでの楽しい買い物に向けて、魅力ある新商品の開発等を実施。

☆県民との円滑なリレーションシップを目指して、本美術館の特色・魅力をしっかりと情報発信。

・やまなしのネットワーク、ノウハウを最大限活用した積極的な広報とパブリシティの実施。

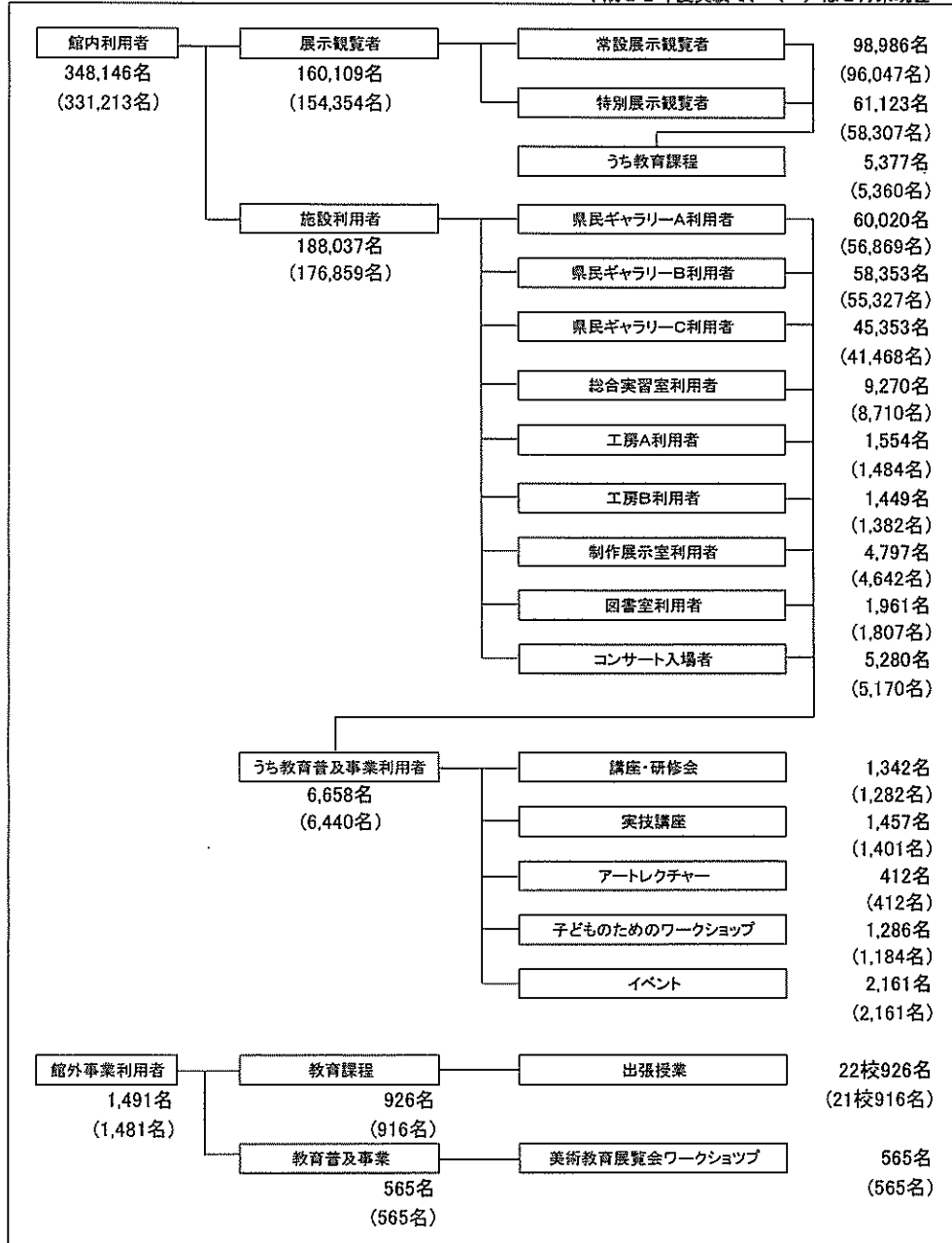
・展覧会事業を報道機関とタイアップすることにより、情報提供機会を増やす。

▶▶▶▶▶これらの取り組みを着実に進めて、より多くの県民の来館に結びつける。

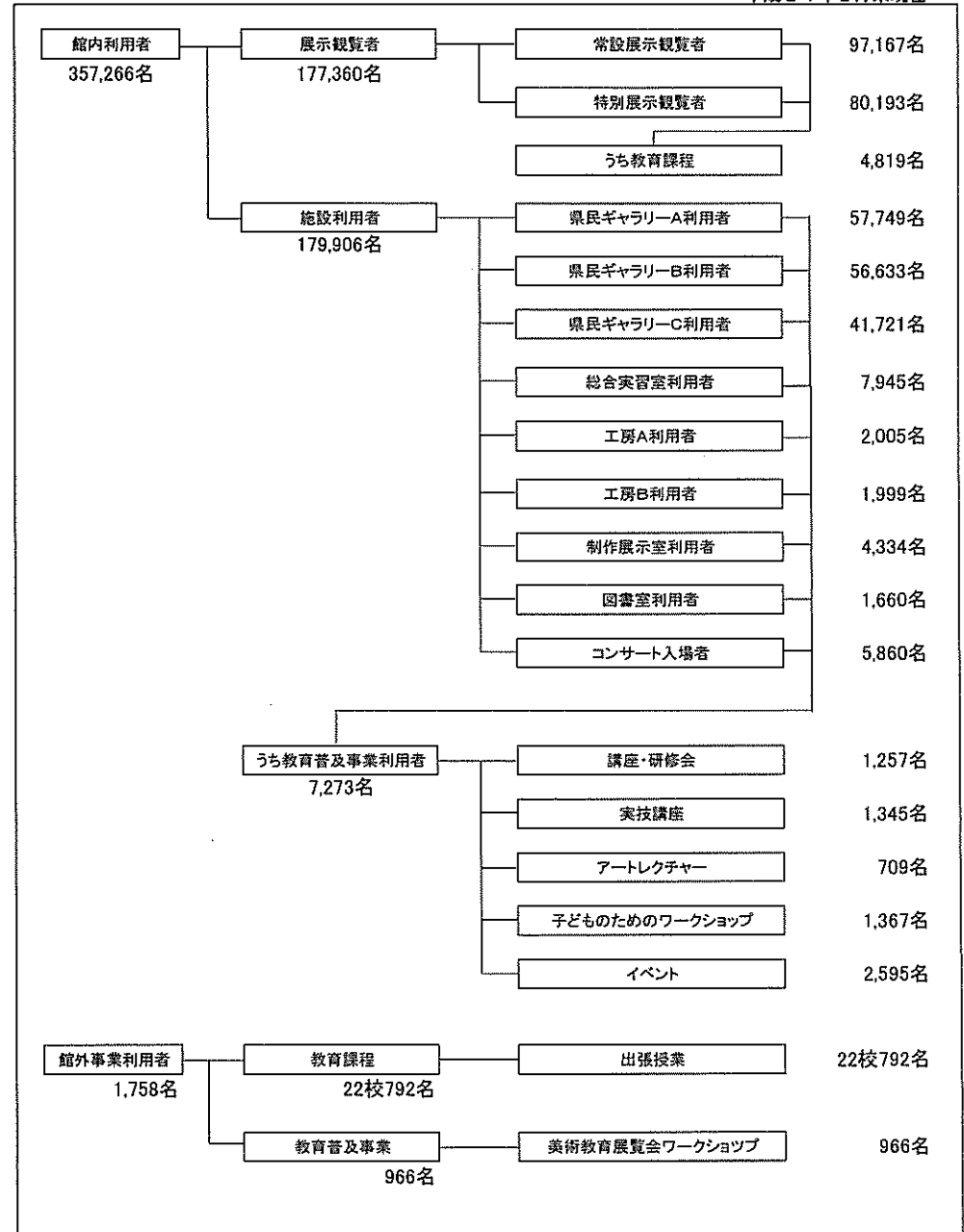
美術館「利用者」の状況

○美術館の利用者とは、美術館の施設、提供するサービスを利用した者および美術館の事業・活動に参加したすべての対象者をいいます。

平成22年度実績で、()は2月末現在



平成24年2月末現在



山梨県立美術館 常設展・特別展観覧者の推移

年度	開館日数	常設展	特別展	観覧者数合計
S53	118	160,594	91,501	252,095
54	295	316,325	152,418	468,743
55	298	410,214	110,951	521,165
56	297	421,759	124,772	546,531
57	296	401,864	107,843	509,707
58	295	391,408	118,381	509,789
59	298	416,423	87,280	503,703
60	299	396,782	193,786	590,568
61	302	443,656	116,263	559,919
62	298	454,876	78,845	533,721
63	296	471,011	109,642	580,653
H1	304	408,088	71,341	479,429
2	293	409,354	69,818	479,172
3	300	379,707	162,035	541,742
4	290	359,582	155,457	515,039
5	287	320,179	97,028	417,207
6	278	270,067	79,467	349,534
7	300	262,845	71,246	334,091
8	289	276,556	86,910	363,466
9	293	202,358	53,780	256,138
10	281	266,846	167,521	434,367
11	298	176,533	89,962	266,495
12	300	149,708	84,963	234,671
13	301	122,857	65,484	188,341
14	301	166,783	131,560	298,343
15	288	90,783	43,766	134,549
16	298	115,874	83,408	199,282
17	301	100,777	50,203	150,980
18	309	96,898	35,385	132,283
19	309	99,823	64,421	164,244
20	307	112,410	85,669	198,079
21	309	117,250	57,083	174,333
22	310	98,986	61,123	160,109
23	288	97,167	80,193	177,360
計	9,926	8,986,343	3,239,505	12,225,848

月別集計数(平成22年度)

常設展

月	開館日数	観覧者数
4	27	8,465
5	26	11,532
6	26	8,677
7	28	7,331
8	27	11,210
9	26	8,036
10	31	10,689
11	24	15,681
12	23	3,810
1	27	6,336
2	18	4,280
計	283	96,047

特別展

(H23.3末)

展覧会名	開催日数	観覧者数
ピクトリアン	51	19,024
池田龍雄	27	3,448
くじら	31	10,495
ティオリエ	40	5,407
小林一三	26	15,211
収蔵名品展	38	4,722
新収蔵品展	23	2,816
計		61,123

絆券(美)	65	2月末日まで
絆券(文)	45	

2月末日まで

月別集計数(平成23年度)

常設展

月	開館日数	観覧者数	
4	26	4,670	55%
5	26	8,618	75%
6	26	7,659	88%
7	26	8,520	116%
8	27	14,850	132%
9	26	8,180	102%
10	29	11,912	111%
11	26	13,966	89%
12	24	4,681	123%
1	27	5,904	93%
2	25	8,207	192%
計	288	97,167	101%

特別展

(H24.2末)

展覧会名	開催日数	観覧者数	
新収蔵品展	33	6,558	
ゲーゼットのウラ	19	9,750	
ムーミン	45	26,972	
川端	47	16,999	
浅川	32	9,524	ドニ3月分
ドニ	48	10,390	2,329
新収蔵品展	10	-	
計		80,193	82,522

平成24年度 山梨県立美術館特別展概要(案)

名 称	マリー・ローランサンと 東郷青児展(仮称)	増田誠展(仮称)	大倉集古館名品展(仮称)	十一屋コレクションの名品 ～野口柿郎をめぐる文人たち～(仮 称)
主催等	山梨県立美術館 山梨日日新聞社・山梨放送	山梨県立美術館 山梨日日新聞社・山梨放送	山梨県立美術館 (株)テレビ山梨	山梨県立美術館 NHK甲府放送局、山梨日日新聞社・山梨放送、(株)テレビ山梨
会期	H24.4.28(土) ～ H24.6.24(日)	H24.7.14(土) ～ H24.9.23(日)	H24.10.13(土) ～ H24.11.25(日)	H24.12.15(土) ～ H25.2.11(月)
会期(開館)日数	58日(51日)	72日(63日)	44日(38日)	59日(48日)
展示内容	<p>・繊細で華やかな少女を描いたマリー・ローランサンと誰でも親しめる洗練された女性像で人気を博した東郷青児。本展では、二人が影響を受けた同時代の画家たちーピカソ、モディリアニ、ユトリロ、ココ・シャネル、竹久夢二ーの作品とともに、20世紀を駆け抜けた二人の作品を様々な視点から展覧し、自ら信じた「美」の本質を問いかける。マリー・ローランサンは、ピカソをはじめとするパリの先進的な芸術家たちと交流し、淡く甘い色づかいと憂いをたたえた詩的な女性像で一世を風靡した。一方、パリで学んだ東郷青児は、優れた技術に支えられ、洗練されているながらも誰にでも理解できる女性像を目指した。20世紀を代表する二人の女性賛歌芸術。ロマンティックで、洗練されたモダンなライフスタイルの中に、新しい「美」の品質を見出すことができる。</p>	<p>・1920年に山梨県南都留郡谷村町(現、都留市)に生まれた増田誠は、1957年に単身フランスのパリに渡り、30年以上に及ぶ在仏期間にパリを中心に活躍し、確固たる評価を確立した画家である。1960年にはポントワーズ市展に招待出品されポントワーズ芸術会員となり、またシェルブール国際展でグランプリを受賞するなど、早くから高い評価を得た。1989年に没した後、1991年には故郷の都留市に増田誠美術館が開館し、多くの県民に親しまれている。山梨県立美術館にも油彩画、版画併せて50点が収蔵されている。本展では増田誠美術館所蔵の作品のほか、遺族や北海道にある作品も展示し、増田誠の画業を広く紹介する。</p>	<p>・大倉集古館は、大正期の日本産業発展に多大な功績を残した大倉喜八郎によって、1917年日本で最初の私立美術館として設立された。その後関東大震災によって相当数の美術品が焼失されたが、幸い難を逃れた日本の古美術品をはじめとする東洋美術の優品に、遺志を継いだ息子喜七郎によって収集された近代日本画が加わり、現在では国宝3点、重要文化財12点を含む1700余点を所蔵している。本展では、平安、鎌倉から江戸時代にわたる絵画、工芸、書蹟等の名品に加え、1930年にイタリアで開催された「ローマ日本美術展」へ出品された横山大観の代表作《夜桜》をはじめとする近代日本画の優品を併せて約70点紹介する。</p>	<p>・滋賀県蒲生郡蒲生町(現、東近江市)に本家を置き醸造業を営んでいた野口家(屋号「十一屋」)は、江戸時代には甲府市柳町へ店を設け、醤油醸造を兼営し、明治維新にいたるまで御蔵宿札差を勤めた豪商である。山梨県立美術館は、開館当初以来、「十一屋」から多数の野口小蘋、富岡鉄斎の秀作の寄託を受け、それぞれの特別展において中核的作品として紹介した。また、平成20年度の特別展へ出品された古美術の名品40余点の追加寄託を受けている。本展では、同家が所蔵する他の美術品について一括寄託を受けるにあたり、改めて特別展を開催する。</p>
展示点数	約100点	約150点	約70点	約150点
会 場	特別展示室	特別展示室	特別展示室	特別展示室
観覧者見込み	18,400人	14,200人	21,700人	8,000人
備 考	自主展	自主展	自主展	自主展

美術館に行こう！

ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方

「ミッフィー（うさこちゃん）」の生みの親で、数多くの名作絵本を生み出しているディック・ブルーナは、現代のオランダを代表する絵本作家であり、グラフィックデザイナーです。

1997年に出版された『うさこちゃん びじゅつかんへいく』は、ミッフィーが家族と一緒に美術館を訪れる物語で、そこには、幼い子どもが初めて本物の美術作品に触れた驚きと感動が描かれています。本展では、この絵本の内容に沿って、さまざまな切り口から山梨県立美術館の所蔵品を紹介します。さらに、ブルーナの作品もくわえることで、彼がどのように試行錯誤しながら独特の技法やスタイルを生み出したのか、制作の秘密に迫ります。

[一部：見てみよう]

19世紀後半のマネや印象派に起源をもつモダン・アートは、20世紀に入ってから、実に多様な展開を見せます。このコーナーでは、はじめて美術館に足を踏み入れたミッフィーの視線で、「写実」「動き」「モチーフ」「筆触」「形」「色」「技法」といったキーワードに沿って、さまざまな表現を楽しく理解することができます。

[二部：考えてみよう]

ディック・ブルーナの魅力は絵本だけではありません。すぐれたグラフィック・デザイナーとしても膨大な仕事を残しており、そのどれもが素晴らしい創意に満ちています。絵本の原画に加え、人気のキャラクターであるブラック・ベアのポスター、シャープな構成が印象深いブックデザイン、単純化された形態で訴える公共ポスターなどを展示し、ディック・ブルーナの全体像を紹介します。

[三部：作ってみよう]

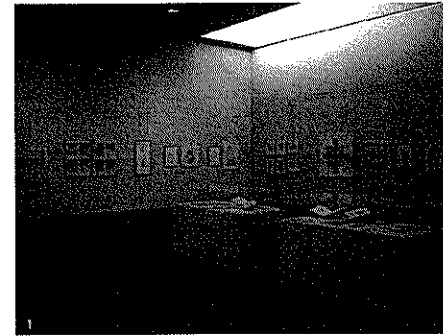
このコーナーでは、実際にディック・ブルーナが絵本を作るのと同じ方法で、絵に色をつける過程を体験します。もちろん自由な発想で制作してもかまいません。作ることを楽しみを味わいながら、ブルーナの創造の秘密に触れることができます。このほか、ギャラリー内にはブルーナの絵本を楽しめるコーナーも設置されます。また、ブルーナのキャラクターをあしらったグッズ類も充実しています。

美術館に行こう！

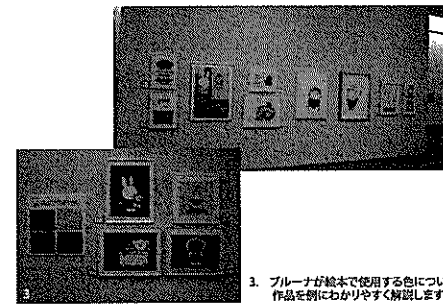
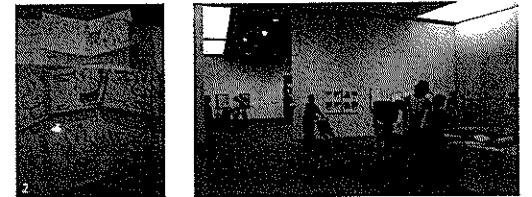
ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方

「考えてみよう」各会場 展示作品

茨城県近代美術館 : 2010年7月17日(土)~9月12日(日)



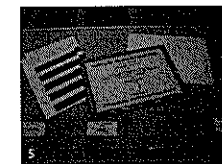
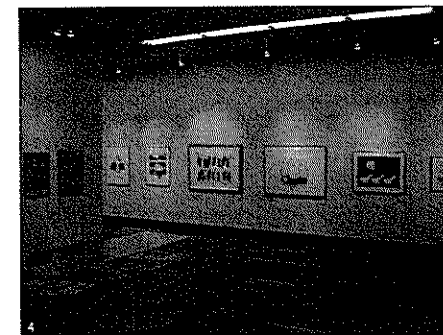
1. 高い天井を生かした壁画展示。
2. 貴重な点字絵本も展示されました。「うさこちゃんとうみ」ほか、初版作品が高字になっています。



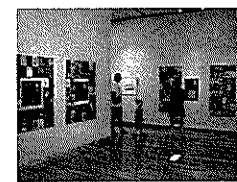
3. ブルーナが絵本で使用する色について作品を例にわかりやすく解説します。



長岡市栢尾美術館 : 2010年9月18日(土)~11月28日(日)



4. 中規模のスペースを最大限に利用し、じっくり作品と向き合うことができる展示。
5. ブルーナが実際に使用している画用紙、筆記用具など、興味深い展示品が並びます。
6. うさぎの耳をつけた保育園児たちも、たのしく鑑賞!



平成23年度寄贈作品

2012.3.9現在

	作者	作品名	制作年	材質	サイズ	寄贈者
1	① 穴山勝堂	夏のうみべ		紙本着色	127.0×49.0	野口倂介氏
2	② 穴山勝堂	磯釣り図	1939	絹本着色	193.5×167.1	安田みね子氏
3	穴山勝堂	海辺風景	1919	絹本着色	86.2×89.8	
4	池田龍雄	BRAHMAN 第1章 梵天	1973-74	アクリル・紙	77.5×53.0	池田龍雄氏
5	池田龍雄	BRAHMAN 第2章 宇宙卵	1977	アクリル・紙	38.0×38.0	
6	池田龍雄	BRAHMAN 第4章 螺旋粒動	1980	アクリル・紙	52.8×77.0	
7	池田龍雄	BRAHMAN 第5章 点生	1981	アクリル・紙	77.5×53.3	
8	③ 池田龍雄	BRAHMAN 第6章 気跡	1982-83	アクリル・紙	77.0×53.3	
9	池田龍雄	BRAHMAN 第7章 結象	1983-84	アクリル・紙	53.0×77.3	
10	池田龍雄	BRAHMAN 第8章 晶華	1985	アクリル・紙	77.5×53.0	
11	池田龍雄	BRAHMAN 第9章 褶曲	1986-87	アクリル他・紙	52.8×77.0	
12	池田龍雄	BRAHMAN 第10章 場の相	1988	アクリル・砂・紙	77.0×53.0	
13~52	④ 遠藤享	版画作品40点 (SPACE&SPACE/NATURE-0407 ほまか)	種々	オフセット・リトグラフ	種々	
53	川崎春彦	冬声	1959	紙本着色	155.0×210.0	川崎春彦氏
54	川崎春彦	野	1983	紙本着色	177.7×211.0	
55	川崎春彦	天駆ける	1987	紙本着色	220.0×160.0	
56	川崎春彦	風まく	2009	紙本着色	172.0×205.0	
57	川崎麻児	足音	1988	紙本着色	227.0×170.0	川崎麻児氏
58	⑥ 川崎麻児	残りし者	1994	紙本着色	230.0×170.0	
59	川崎麻児	不在	2008	紙本着色	194.0×140.0	
60	⑦ 三枝茂雄	遼磨図	1968	紙本着色	42.0×33.0	伊藤孝夫氏
61	⑧ 阪本トクロウ	ドリフター	2008	アクリル・ガラス・箔紙	182.0×227.3	阪本トクロウ氏
62	阪本トクロウ	アフターイメージ	2009	アクリル・雲肌麻紙	162.0×97.0	
63	茅野恒雄	ラテン	1992	漆芸	37.5×22.0×76.5	茅野みや子氏
64	茅野恒雄	日食	1995	漆芸	36.3×15.3×61.5	
65	茅野恒雄	時空	2009	漆芸	51.0×21.0×89.0	
66	茅野恒雄	蜃気楼	2010	漆芸	50.0×20.0×100.0	
67	鳥居雅隆	サン・ルーラン	1950代	油彩・麻布	73.0×54.0	鳥居みさ子氏
68	鳥居雅隆	コンポジション	1967頃	油彩・墨・木晶の粉・麻布	55.0×67.0	
69	鳥居雅隆	コンポジション	1967頃	油彩・墨・木晶の粉・麻布	66.0×54.0	
70	鳥居雅隆	コンポジション	1967頃	油彩・墨・木晶の粉・麻布	66.0×50.0	
71	⑩ 鳥居雅隆	コンポジション	1967頃	コラージュ、和紙	54.0×65.0	
72	鳥居雅隆	秘境集落	1970代前半	油彩・麻布	163.0×113.0	
73	鳥居雅隆	赤のコンポジション	1979	油彩・麻布	22.0×27.5	
74	鳥居雅隆	飛翔	1989	油彩・麻布	130.0×160.0	
75	鳥居雅隆	シテ島とセーヌ河	1997	油彩・麻布	114.0×165.0	

	作者	作品名	制作年	材質	サイズ	寄贈者
76	深沢幸雄	不死鳥は舞う	2007	メノチント、アクリル・紙	60.0×36.0	深沢幸雄氏
77	深沢幸雄	少女と鳥	2007	メノチント、アクリル・紙	36.0×60.0	
78	深沢幸雄	想念と渦	2007	メノチント、アクリル・紙	60.0×36.0	
79	深沢幸雄	幼な児の夢	2008	メノチント・紙	59.7×36.2	
80	深沢幸雄	Sという字	2008	メノチント、エッチング・紙	49.5×36.0	
81	深沢幸雄	青い壺の情景	2008	メノチント・紙	36.0×29.4	
82	⑪ 深沢幸雄	月を見る人	2008	メノチント・紙	49.5×36.0	
83	深沢幸雄	街頭の散策	2009	メノチント・紙	49.5×36.0	
84	深沢幸雄	顔と飛天	2009	メノチント、エッチング・紙	49.5×36.0	
85	深沢幸雄	ギタラの響き	2010	メノチント、エッチング・紙	59.6×36.2	
86	深沢幸雄	光の当たった人	2010	メノチント、エッチング・紙	59.6×36.2	
87	深沢幸雄	僕の心を覗く僕	2011	メノチント・紙	69.4×36.0	
88	深沢幸雄	僕の中の中原中也	2011	メノチント・紙	49.4×36.0	
89	深沢幸雄	赤い黄昏	2011	メノチント、エッチング・紙	49.6×36.0	
90	⑫ 萩原英雄	熱帯魚	1957	木版	27.0×38.5	岡田多榮子氏
91	⑬ 望月春江	春日	1921頃	紙本着色(二曲一雙)	各172.0×168.0	竹内孝衛氏
92	⑭ 近藤浩一路	水墨風景	大正期	紙本着色(六曲一雙)	119.0×291.0	都築正治氏
93	中川一政	富士川風景	1936	油彩・麻布	80.5×117.0	
94	⑮ モーリス・ドニ	お下げ髪の娘	1910頃	鉛筆・紙	27.5×23.0	クレール・ドニ氏 寄贈
95	モーリス・ドニ	母親に花冠を戴く子ども	1920頃	リトグラフ	45.5×34.0	

平成23年度購入作品

	作者	作品名	制作年	形状	サイズ	その他
96	⑯ ジャン＝フランソワ・ミレー	古い塀	1862頃	油彩・麻布	50.8×61.6	
97	⑰ レオン・オーギュスタン・レルミット	洗濯をする女たち	1910	油彩・麻布	54.6×70.8	
98	⑱ フェリックス・ティオリエ	積みわらのそばの羊の群れ、プレシヴエ	1880-1910頃	セラチン・シルバー・プリント	28.4×38.4	
99		樹木の茂み、ボンサン近郊の村グラタルー	1880-1910頃	セラチン・シルバー・プリント	29.2×38.9	

平成23年度寄託作品

	作者	作品名	制作年	形状	サイズ	その他
100	東韶光	唐松	不詳	紙本着色	80.0×107.0	
101	⑲ 望月定夫	薔薇	不詳	紙本着色	80.0×100.0	
102		蘭	不詳	紙本着色	110.0×82.0	
103	⑳ 徳丸鏡子	百花誰為咲 I	2008	磁器	47.0×64.0×11.0	
104		世果報島・妹島	2009	磁器	31.0×41.0×27.0	

教育課程における入館者数

(1) 小学校

地区	回数校数	人数
甲府	32	1,379
中巨	1	93
東山	1	15
笛吹	0	0
南巨	0	0
西八	1	4
北巨	3	45
南都	0	0
北都	1	20
法人	0	0
私立	3	146
県外	0	0
計	42	1,702

引率者	137
-----	-----

(2) 中学校

地区	回数校数	人数
甲府	29	307
中巨	20	284
東山	0	0
笛吹	3	73
南巨	8	115
西八	0	0
北巨	4	41
南都	5	70
北都	5	108
法人	6	30
私立	4	113
県外	0	0
計	84	1,141

引率者	169
-----	-----

(3) 高等学校

種別	回数校数	人数
県立	13	157
市立	1	280
私立	3	163
その他	4	462
県外	0	0
計	21	1,062

引率者	0
-----	---

職場体験	回数	参加人数
	46	112

(4) 特別支援教育

種別	回数校数	人数
県立	5	49
法人	0	0
県外	0	0
計	5	49

引率者	0
-----	---

(5) その他

	団体数	人数
計	9	865

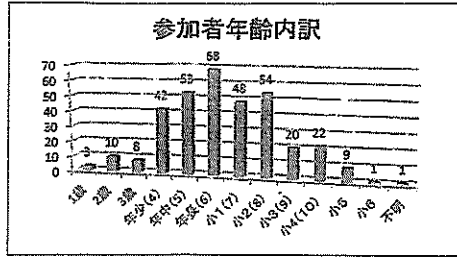
引率者	38
-----	----

月別入館者数

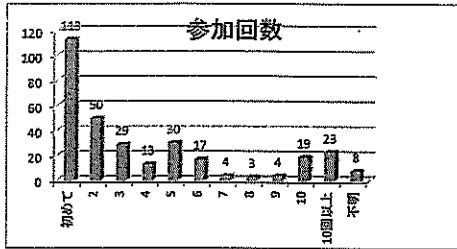
月	回数	人数
4	8	130
5	31	890
6	9	202
7	27	697
8	36	285
9	3	198
10	15	492
11	13	839
12	8	260
1	3	723
2	8	447
3	0	0
計	161	5,163

引率者計	344
------	-----

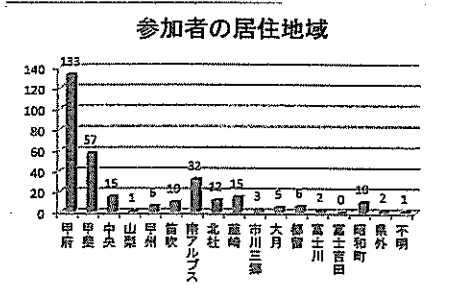
平成27年度「得たの音」プロジェクト（5月10日終了）



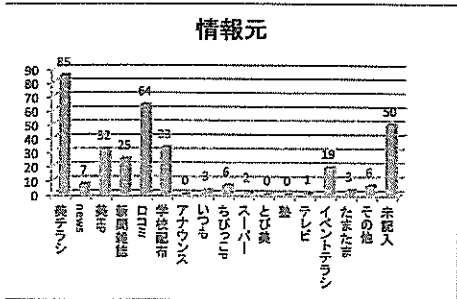
年齢	人
1歳	3
2歳	10
3歳	8
年少(4)	42
年少(5)	53
年少(6)	57
小1(7)	48
小2(8)	54
小3(9)	20
小4(10)	22
小5	9
小6	1
不明	1



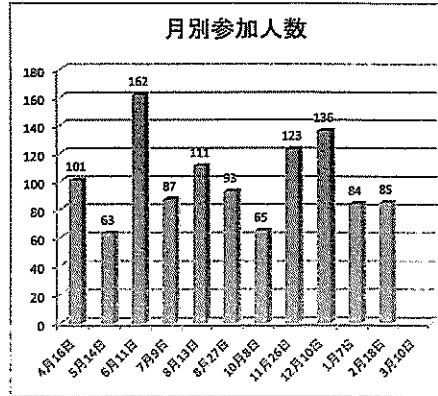
回数	人数
初めて	113
2	50
3	29
4	13
5	30
6	17
7	4
8	3
9	4
10	19
10回以上	23
不明	8



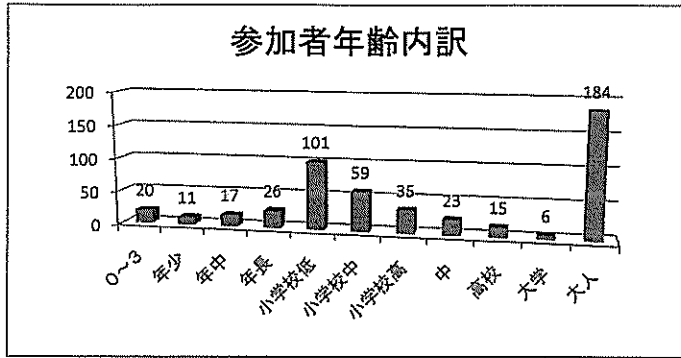
甲府	133
甲斐	57
中央	15
山梨	1
甲州	6
信濃	10
藤アールプ	32
北社	12
藤崎	15
市川三郷	3
大月	5
藤留	6
富士川	2
富士吉田	0
昭和町	10
県外	2
不明	1



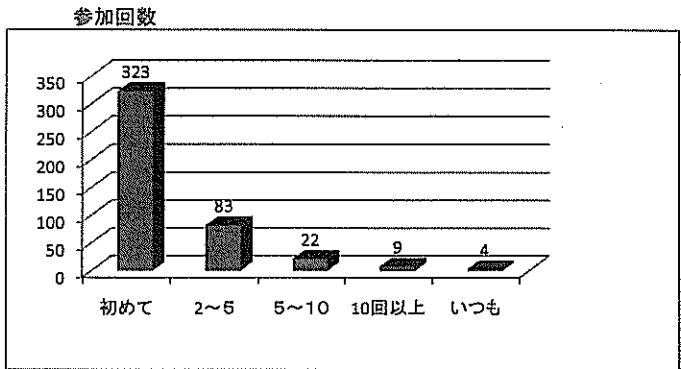
電子アシ	85
news	7
演習P	32
新聞雑誌	25
口コミ	64
学校配布	33
アパウンス	0
いつも	3
らびっくP	6
スーパー	2
とび舞	0
誌	0
テレビ	1
イベント	19
たまごま	3
その他	6
未記入	50



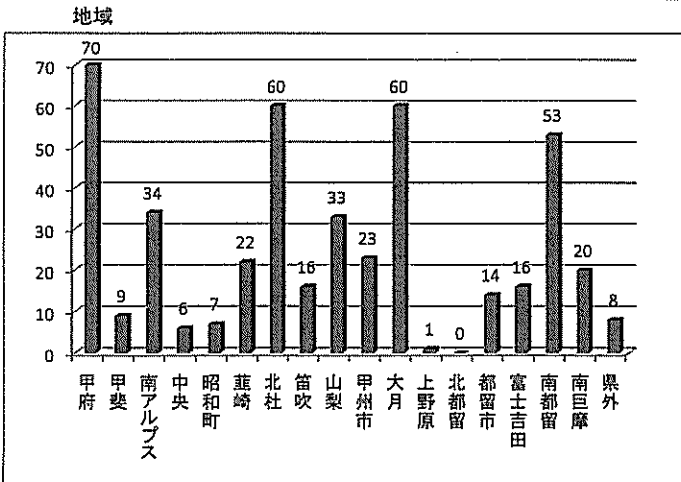
平成23年度とびだせ美術館！参加者アンケート



年齢	人
0～3	20
年少	11
年中	17
年長	26
小学校低	101
小学校中	59
小学校高	35
中	23
高校	15
大学	6
大人	184

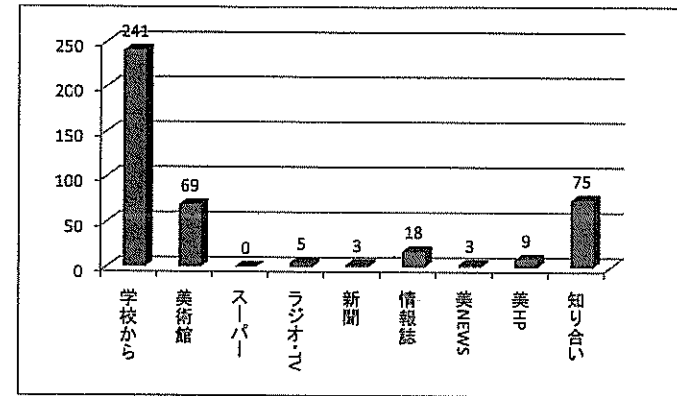


参加回数	人数
初めて	323
2～5	83
5～10	22
10回以上	9
いつも	4



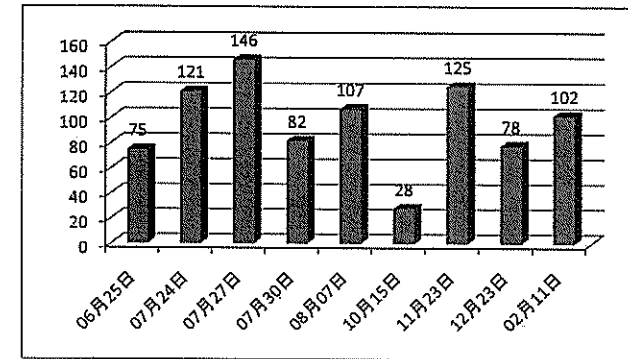
地域	人数
甲府	70
甲斐	9
南アルプス	34
中央	6
昭和町	7
韮崎	22
北社	60
笛吹	16
山梨	33
甲州市	23
大月	60
上野原	1
北都留	0
都留市	14
富士吉田	16
南都留	53
南巨摩	20
県外	8

情報もと



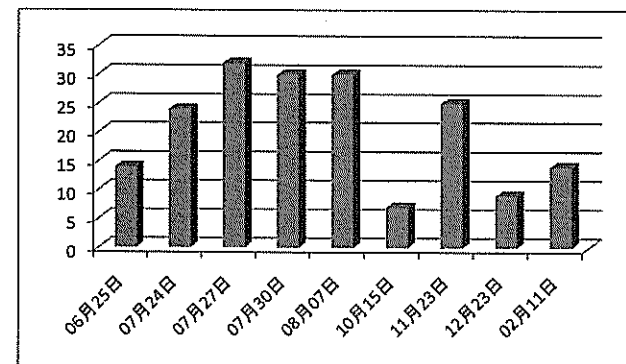
情報もと	人数
学校から	241
美術館	69
スーパー	0
ラジオ・TV	5
新聞	3
情報誌	18
美NEWS	3
美HP	9
知り合い	75

参加人数



参加日	参加人数
06月25日	75
07月24日	121
07月27日	146
07月30日	82
08月07日	107
10月15日	28
11月23日	125
12月23日	78
02月11日	102

ボランティア人数



参加日	ボランティア人数
06月25日	14
07月24日	24
07月27日	32
07月30日	30
08月07日	30
10月15日	7
11月23日	25
12月23日	9
02月11日	14

キッズ・プログラム

特別展を中心とした子ども向けのイベントです。(参加無料)

プログラム名	開催日時	内 容	対 象	申し込み期間
ぶらっとアート1	5月12日(土) 午前10:00~11:30 午後2:00~3:30	マリー・ローランサンと 東郷青児展 繊細で華やかな少女を描いたマリー・ローランサンと誰でも親しめる洗練された女性像で人気を博した東郷青児。ふたりの作品を中心に同世代の画家、モディリアーニ、ユトリロ、ココ・シャネル、竹久夢二らの作品を楽しみます。	小学生と その家族	4月12日 ~5月11日 午後5時まで
ぶらっとアート2	5月26日(土) 午前10:00~11:30 午後2:00~3:30	増田誠展(仮称) 増田誠(現都留市出身)は、単身フランスのパリにわたり、同地で30年以上活躍した画家です。増田誠美術館所蔵作品のほか、遺族や増田誠をパリへ送り出した所蔵家のもとに残る作品も展示します。親子で増田誠の作品を楽しみます。	小学生と その家族	4月26日 ~5月25日 午後5時まで
ぶらっとアート3	7月21日(土) 午前10:00~11:30 午後2:00~3:30	増田誠展(仮称) 増田誠(現都留市出身)は、単身フランスのパリにわたり、同地で30年以上活躍した画家です。増田誠美術館所蔵作品のほか、遺族や増田誠をパリへ送り出した所蔵家のもとに残る作品も展示します。親子で増田誠の作品を楽しみます。	小学生と その家族	6月21日 ~7月20日 午後5時まで

とびだせ美術館! アートの種まきワークショップ 申し込み不要
「とびだせ美術館!」はアートの種をもってみんなのまちにでかけます。新しく出あった仲間と、いろいろ描いたり、つくったり、アートを楽しみましょう。できた作品は夏に美術館で展示します。

「ワークショップ」6/2~8/11の間(午後1:30~3:30)

県内各地

「みなび作品展」7/29~8/11(県民ギャラリーC室)

ワークショップは子どもから大人まで誰でも参加できます。

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| ○ 6月 2日(土) 山梨県立富士記の丘研修センター | ○ 6月16日(土) 山梨県立美術館 |
| ○ 6月21日(木) 山梨県立美術館 | ○ 6月30日(土) 笛吹市立富士見小学校 |
| ○ 7月 7日(土) 帝京学園短期大学 | ○ 7月15日(日) 都留文科大学 |
| ○ 7月25日(水) 身延町なかとみ和紙の里 | ○ 7月27日(金) 甲府市立城南中学校 |
| ○ 8月 5日(日) 山梨県立美術館 | ○ 8月10日(金) 山梨県立美術館 |

*場所は開催予定です。場所の変更もあります。合わせてボランティアスタッフも随時募集しております。

*参加者多数の場合、安全上参加を制限する場合があります。(定員100名程度)

6月12日(火)~9月17日(月・祝)

予定

美術館に行こう!

「美術館に行こう! ティック・ブルーナーに学ぶモダン・アートの楽しみ

方」展を開催します。本展覧会は絵本『うさこちゃん びじゅつかんへいく』(福音館書店刊)をガイドに、楽しみながらアートに親しめる展覧会。さあ、みんなで山梨県立美術館に行こう!

夏休み ワークショップ 半日コース	7月30日(月) [美術館の休館日] 午前10:30~12:00	お休みの日の美術館。いつもと違うところを探検! ちょっとびっくりの子どもだけのワークショップ。	小学4年生 ~6年生 (20名程度)	6月30日 ~7月22日
-------------------------	--	---	--------------------------	-----------------

夏休み ワークショップ	7月30日(月) [美術館の休館日] 午前10:30~ 午後3:30	ふだんは入れない収蔵庫や機械室など美術館の裏側を探検します。午前中は半日コースと一緒に、午後から学芸員の仕事を体験もします!	中学生 (20名程度)	6月30日 ~7月22日
あつまれ! びじゅつ探検隊1	10月27日(土) 午前10:00~11:30	大倉集古館名品展(仮称) 日本最初の私立美術館として設立された大倉集古館の所蔵作品の展覧会です。平安、鎌倉から江戸にわたる絵画、工芸、書蹟等名品と横山大観の代表作<夜桜>をはじめとする近代日本画の優品を楽しみます。	小学4~6年生 +保護者参加可	9月24日 ~10月24日
親子の アートレクチャー1	10月27日(土) 午後2:00~3:30		小学1~3年生とその保護者	9月24日 ~10月24日
親子で美術館を 楽しむ会	11月3日(土・祝) 午前10:00~11:30 午後2:00~3:30	11月3日は県立美術館のたんじょう日! 親子いっしょに見学と体験で楽しく作品について学びます。	小学生とその保護者 (各回30名程度)	10月 3日 ~31日
親子の アートレクチャー2	1月12日(土) 午前10:00~11:30	十一屋コレクションの名品展(仮称) ~野口楠軒をめぐる文人たち~ 江戸時代の豪商「十一屋」と深い繋がりがあった画家・野口小蘗や富岡鉄斎などをはじめとする、江戸時代の書画や中国絵画など、初公開を含めた名品を見て、聞いて、感じて楽しめます。	小学1~3年生とその保護者	12月12日 ~1月9日
あつまれ! びじゅつ探検隊2	1月26日(土) 午前10:00~11:30		小学4~6年生 +保護者参加可	12月26日 ~1月23日
ぶらっとアート4	2月18日(土) 午前10:00~11:30 午後2:00~3:30	富士の国やまなし国文祭記念事業 山梨県立美術館ミレー・コレクションのすべて (仮称) 山梨県立美術館が所蔵するミレー作品のすべてを展示します。見方を変えると作品も変わって見えるのが不思議!	小学生とその家族	1月18日 ~2月17日 午後5時まで

特別展を中心とした子ども向けのイベントです。

(参加無料) (「親子で美術館を楽しむ会」は参加費500円程度・常設展が無料で観覧できます。)

*「ぶらっとアート」は小学1~6年生と家族で楽しむプログラムです。幅の広い年齢の子どもたちが参加します。

*子どもクラブなどの団体で申し込む場合には、別の日程で実施することもありますので、事前にお問い合わせください。日時・内容については変更する場合があります。

申し込み方法: 電話またはFAXで、プログラム名・氏名(ふりがな)・学校名・学年・〒住所・

電話番号(FAXがある方はFAX番号)・参加する保護者名をお知らせください。

参加者多数の場合時間が前後します。

(申し込まれた方の個人情報、本事業のみを利用目的とし、当館で適切に管理します。)

問い合わせ先 〒400-0065 甲府市賈川1-4-27

山梨県立美術館「キッズ・プログラム」係 Tel. 055-228-3322 Fax. 055-228-3324

平成24年度

造形広場

時間 午後1:30~3:30
 場所 ワークショップ室
 対象 幼児・小学生
 定員 先着100名程度
 (時間までに来てください)
 参加無料・申込不要

4月7日(土)・5月5日(土)

6月9日(土)・7月14日(土)

8月4日(土)・9月8日(土)

10月13日(土)・11月10日(土)・12月8日(土)

1月12日(土)・2月9日(土)・3月2日(土)

リサイクル品を中心に物の仕組みについて学びながら作品をつくります。
(前月にテーマが決まります。)

時間 午後1:30~4:00
 (午前の部がある時もあります)
 場所 ワークショップ室
 対象 小学生~大人まで
 (低学年は、保護者同伴)
 定員 安全面を考え、内容によっ
 て変わります。時間までに
 来てください
 材料費(100円~500円)
 申込不要

創作教室

4月28日(土)

「アートボックスをつくろう。」

展示室の作品を半立体絵画にしよう。

時間 1:30~4:00 (参加費 500円程度)

先着30名程度

12月22日(土)

3月23日(土)

お問い合わせ

〒400-0065 山梨県甲府市賈川 1-4-27
 山梨県立美術館 造形広場・創作教室係
 TEL 055-228-3322

*詳細は各創作教室の事前のチラシをご覧ください。

平成24年度

大人のための美術講座

山梨県立美術館

当館では特別展でのギャラリー・トークを実施しています。その前に、ちょっとお得な大人向けの美術講座を用意しました。講座の後、ギャラリー・トークに参加すると特別展が一層わかりやすくなります。
 (本講座は無料ですが、ギャラリー・トークには特別展チケットが必要です。ただし、県内在住の65歳以上の方は無料です。)

場所: 総合実習室 時間: 午後1:00~1:30 申し込み不要・聴講無料

講座名	開催日時	内容
マリーローランサンと東郷青児展	5月19日(土)	繊細で華やかな少女を描いたマリーローランサンと誰でも親しめる洗練された女性像で人気を博した東郷青児。ふたりの作品を中心に同世代の画家、モディリアーニ、ユトリロ、ココ・シャネル、竹久夢二らの作品を楽しみます。
増田誠展(仮称)	8月11日(土)	増田誠(現都留市出身)は、単身フランスのパリにわたり、同地で30年以上活躍した画家です。増田誠美術館所蔵作品のほか、遺族や増田誠をパリへ送り出した所蔵家のもとに残る作品も展示し、増田誠の画業を広く紹介します。
大倉集古館名品展(仮称)	11月17日(土)	大倉集古館は、日本最初の私立美術館として設立されました。大倉集古館所蔵作品の中から、平安、鎌倉から江戸にわたる絵画、工芸、書蹟等名品に加え、横山大観の代表作《夜桜》をはじめとする近代日本画の優品を紹介します。
十一屋コレクションの名品展(仮称) ~野口柿邨をめぐる文人たち~	1月5日(土)	江戸時代の豪商「十一屋」と深い繋がりがあった画家、野口小嶺や富岡鉄斎などをはじめとする、江戸時代の書画や中国絵画など、初公開を含めた名品を紹介します。

* 日時・内容については変更する場合があります。

お問い合わせ

〒400-0065 甲府市賈川 1-4-27
 山梨県立美術館「大人のための美術講座」係
 Tel. 055-228-3322 Fax. 055-228-3324

教師のための鑑賞研究会

(予定)

	展覧会名 (会期)	鑑賞研究会開催日時
1	<p>マリー・ローランサンと東郷青児展 20世紀を代表する女性讃歌の画家といえるふたり。彼らが影響を受けたモディリアーニ、ユトリロ、ココ・シャネル、竹久夢二ら同時代の画家たちの作品とともに、ふたりの作品を様々な視点から展覧し、自ら信じた「美」の本質を問いかけます。 (4月28日～6月24日)</p>	<p>5月10日(木) 午後4時～</p>
2	<p>増田誠展 (仮称) 増田誠(現都留市出身)は、単身フランスのパリにわたり、同地で30年以上活躍した画家です。増田誠美術館所蔵作品のほか、遺族や増田誠をパリへ送り出した所蔵家のもとに残る作品も展示し、増田誠の画業を広く紹介します。 (7月14日～9月23日)</p>	<p>8月2日(木) 午前10時～</p>
3	<p>大倉集古館名品展 (仮称) 大倉集古館は、日本最初の私立美術館として設立されました。大倉集古館所蔵作品の中から、平安、鎌倉から江戸時代にわたる絵画、工芸、書蹟等名品に加え、横山大観の代表作《夜桜》をはじめとする近代日本画の優品を紹介します。 (10月13日～11月25日)</p>	<p>10月23日(火) 午後4時～</p>
4	<p>十一屋コレクションの名品展 (仮称) ～野口柿村をめぐる文人たち～ 江戸時代の豪商「十一屋」と深い繋がりがあった画家、野口小嶺や富岡鉄斎などをはじめとする、江戸時代の書画や中国絵画など、初公開を含めた名品を紹介します。 (12月15日～2月11日)</p>	<p>1月24日(火) 午後4時～</p>

* 参加した学校には、教材用に図録を一冊差し上げます。

* 美術の先生方以外も大歓迎です。

アートレクチャー及び鑑賞研究会の開催

平成24年度

山梨県立美術館

		鑑賞研究会開催日時
1	<p>中学生(高校生)のためのアートレクチャー 学校の美術部等のために、随時特別展のアートレクチャーをします。ご希望がありましたら、ご相談下さい。</p>	<p>土曜日及び学校の長期休業中</p>
2	<p>校内研究としての鑑賞研究会 学校の研修にあわせ、鑑賞研究会を開きません。ご希望がありましたら、ご相談下さい。</p>	<p>学校の長期休業中</p>
3	<p>教育協議会等の研修 図工や美術の実技指導研修や鑑賞指導研修に美術館を使いません。</p>	<p>随時受け付け</p>
4	<p>総合的な学習の時間・校外学習・職場体験 選択の授業でも利用できます。 アートボックスをもって出前授業にいけます。 修学旅行の事前学習や版画の導入にいかがですか。</p>	<p>随時受け付け</p>
5	<p>アートボックスの貸出し 日本画・版画・テンペラ・フレスコ・パステル 油絵等本物の作家作品が入っています。 小学生用もあります。 (アクリル板での色の混色あそび・ 衣装を着てなりきり《種をまく人》)</p>	<p>随時受け付け (出前授業も行っております)</p>

- * 上記の他、ご希望により長期休業中に研究会を計画することも可能です。
- * 美術科だけでなく、広く多くの先生方に活用していただきたいと願っています。
- * 気軽にご相談下さい。

山梨県立美術館 教育普及担当 市川 井上
Tel 055-288-3258 Fax 055-228-3418

○ 事業名

「とびだせ美術館！ アートの種まきワークショップ」

○ 概要

大人や子ども、障害者、美術家や一般の方など誰でも自由に、ワークショップや展覧会などに参加できる一連の事業。

テーマのもとに県内各地域でワークショップを開催して、その作品や映像記録を山梨県立美術館県民ギャラリーなどに展示する。また、会期中も展覧会場内などでイベントを行う。

企画・運営は実行委員会が中心となり、一般から募集したボランティアや、当事業の主旨に賛同していただける各団体・企業からの協力を得ながら展開する。

○ 目的

多様な創造活動を行い、表現することの喜びを味わい、さらに芸術を通して人間同士の心の交流を図り、芸術の見方や考え方を広げる。

○ 主催

とびだせ美術館実行委員会・山梨県立美術館

○ テーマ（三か年）

わたしたちは、豊かな自然の中で、その恩恵を受けて生活している。
山梨各地で、自然をテーマにワークショップを行う。

「川」・・・平成22年5月実施分～7月

「山」・・・平成22年10月実施分～平成23年7月実施分

「空」・・・平成23年10月実施分～平成24年度8月実施分

○ ワークショップ

テーマに沿ったワークショップ（創作表現活動）を各地で行う。

平成24年6月2日～平成24年8月10日 計10回

（予定）

	開催予定日	開催予定地域
1回目	平成24年 6月 2日（土）	県立風土記の丘研修センター 県立考古博物館＜共催＞
2回目	6月16日（土）	県立美術館ワークショップ室 講師 作家 中込靖成氏
3回目	6月21日（木）	県立美術館ワークショップ室 兼：体験講座「障がい者のためのワークショップ」
4回目	6月30日（土）	笛吹市立富士見小学校（笛吹市） 講師 作家 中込靖成氏

5回目	7月 7日（土）	帝京短期大学（小淵沢） 講師 帝京短期大学保育科学生
6回目	7月15日（日）	都留文科大学（都留市） 講師 都留文科大学教授 鳥原正敏氏・中村伸也氏
7回目	7月25日（水）	身延町なかとみ和紙の里（身延町） 講師 和紙の里職員 笠井正大氏
8回目	7月27日（金）	甲府市立城南中学校（甲府市） 講師 中込氏？（成澤先生？）
9回目	8月 5日（日）	県立美術館 総合実習室 講師 佐藤拓哉氏
10回目	8月10日（金）	県立美術館 ワークショップ室 講師 山梨学院短期大学保育科教授 伊藤美輝氏・学生

○ 作品展会期

平成24年 7月 29日（日）～8月11日（土）（12日）

○ 作品展会場

山梨県立美術館 県民ギャラリーC・他 入場無料

○ 実行委員（平成24年度・案）

実行委員長	白石和己（山梨県立美術館館長）
副実行委員長	伊藤美輝（山梨学院短期大学教授）
実行委員・事務局長	向山富士雄（県立美術館学芸課長）
〃・事務局	市川知都理（県立美術館）
〃・〃	雨宮千鶴（〃）
〃・〃	春原史寛（〃）
	小俣直喜（山梨大学人間科学部附属中学校教諭）
〃・〃会計	井上真弓（県立美術館）
監事	田中静男（たまご教室主宰）
	成澤玲子（甲府市立城南中学校教諭）

○ 後援（予定） 期間 平成24年6月～平成24年8月

山梨県造形教育研究会／山梨県高文連美術工芸専門部山梨県美術工芸科研究会／山梨県社会福祉協議会／NHK 甲府放送局／山梨日日新聞社・山梨放送／テレビ山梨／山梨新報社／朝日新聞甲府総局／テレビ朝日甲府支局／産経新聞甲府支局／毎日新聞甲府支局／読売新聞甲府支局／日本ネットワークサービス／エフエム富士／エフエム甲府

○ 協力（予定）

アオヤギフォトスタジオ／（有）ディスプレイ遠藤／日本通運株式会社山梨支社 島田プロセス / 甲信梱包（株）／わからず屋商兵衛／画材シンプク／ぺきん堂／みくに画材（株）機山堂／香葉堂／NPO法人虹の谷／ガールスカウト山梨県支部／NPO法人芸術文化振興センター／人ねっこ・アートワーク／山梨学院大学・短期大学／山梨大学教育人間科学部美術教育講座・芸術運営コース／山梨県立大学／都留文科大学／帝京短期大学／山梨県立考古博物館／身延町なかとみ和紙の里／笛吹市立富士見小学校／甲府市立城南中学校／株式会社SPS やまなし

ミレー「古い塀」
2012年1月21日(土)より公開

ジャン＝フランソワ・ミレー
〈古い塀〉1862年頃
油彩・麻布 50.8×61.6

バルビゾン村とフォンテーヌブローの森を区切る古びた塀と、そこから顔を見せる壁が描かれています。ミレーが風景を描き始めた1862年頃に制作された。力強い農民を擁ったイメージが強いミレーは、この頃、この塀と新しいミレーの世界に到達するまでです。

山梨県立美術館
立川 甲府

甲府駅前からバス・タクシーで約15分

甲府駅前ICD・3階6号コース 7200円

JR東日本旅客鉄道株式会社

甲府駅が最寄の山梨県立美術館様では、2012年1月21日(土)より、ミレー作「古い塀」を公開しております。これに伴い、「駅から観タクン」の利用促進、近距離流動活性化を目的として、オリジナルポスターを掲出してあります。



立川駅コンコース



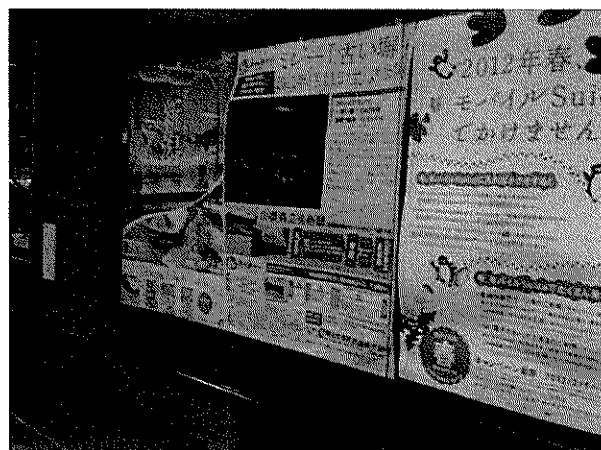
立川駅下りホーム



国立駅コンコース



東所沢駅コンコース




八王子駅自由通路

指定管理者上半期活動トピックス

【1】 展示広報①

両館常設展チラシのリニューアルと活用



山梨県立文学館
Time travel from Yamanashi

山梨県立美術館

山梨県立文学館

※活用例
やまなし観光推進機構と協働し、旅行会社向け説明会（東京）に参加・参加者に配布（10/30・2/9）

- 視覚で施設の特徴を紹介できるツールとしてリニューアル
- 県内観光施設及び首都圏博物館施設を中心に配布

指定管理者上半期活動トピックス

【1】 展示広報②（特別展）

- 「ムーミンと仲間たち」（7/9～8/28）
入館者数：26,972名（10,450名目標、※SPS目標25,000名）



The Moomin's World 1

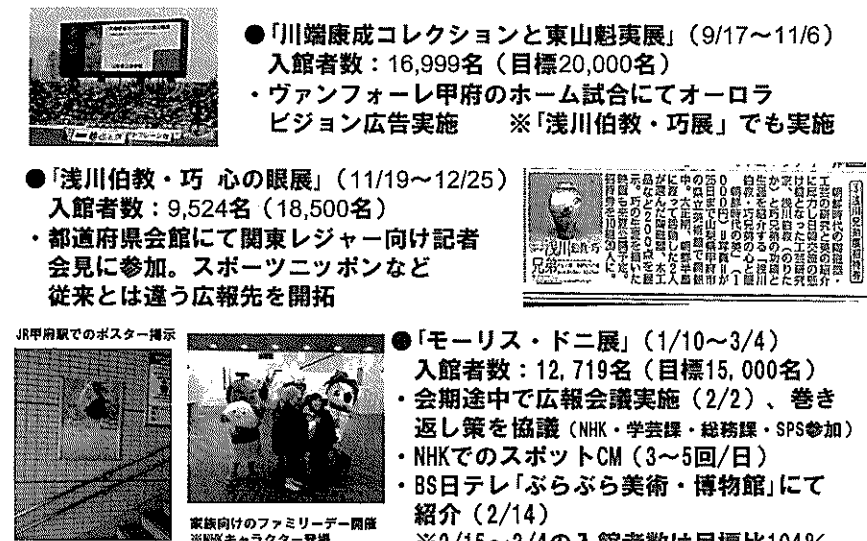
キャラクター4種類のチラシを作成

夏あへの掲載 ※有料媒体

職員一丸となった広報活動を展開したことで、SPS目標を越える入館者数を達成！

指定管理者年間活動トピックス

【1】 展示広報③（特別展）



- 「川端康成コレクションと東山魁夷展」（9/17～11/6）
入館者数：16,999名（目標20,000名）
・ヴァンフォーレ甲府のホーム試合にてオーロラビジョン広告実施 ※「浅川伯教・巧展」でも実施
- 「浅川伯教・巧 心の眼展」（11/19～12/25）
入館者数：9,524名（18,500名）
・都道府県会館にて関東レジャー向け記者会見に参加。スポーツニッポンなど従来とは違う広報先を開拓
- 「モーリス・ドニ展」（1/10～3/4）
入館者数：12,719名（目標15,000名）
・会期中で広報会議実施（2/2）、巻き返し策を協議（NHK・学芸課・総務課・SPS参加）
・NHKでのスポットCM（3～5回/日）
・BS日テレ「ぶらぶら美術・博物館」にて紹介（2/14）
※2/15～3/4の入館者数は目標比104%

JR甲府駅でのポスター掲示

家族向けのファミリーデー開催 ※NHKキャラクター登場

指定管理者年間活動トピックス

【1】 展示広報④

- 「ミレー新作」広報
 - ① チラシ・ポスター作成
 - ② BS日テレ「ぶらぶら美術・博物館」（2/7放映）
 - ③ JR東日本との協働広報
 - ・JR甲府駅構内ポスター掲示
 - ・JR八王子支社とのタイアップ誘致チラシ

ミレー「古い堀」
2012年1月21日（土）より公開

山梨県立美術館

足で稼ぐ広報活動・人脈による広報活動・顔の見える広報活動を展開

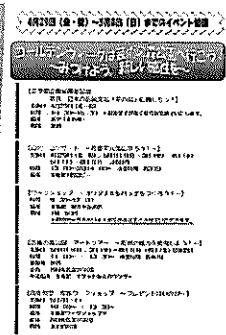
指定管理者年間活動トピックス

【2】 イベント

GWイベント

GW期間中に美術館・文学館・芸術の森公園の合同イベントを実施

- 『ワークショップ』
- 『アートツアー』
- 『ロビーコンサート』



アートツアー



参加者実績	
21年度	155名
22年度	741名
23年度	876名

- 雨天中止になった会もあったが、最終的に目標の800名を達成
- ご要望に応じ団体予約への対応が可能な体制を構築し、更なる集客を目指す

指定管理者年間活動トピックス

【3】 サービス向上 スタッフ研修

5/23 年間達成目標を設定年間を通した研修計画⇒継続は力なり
「監視のフロ集団になる」⇒ひとりひとりがフロになるだけでなく
チームワークをもってフロ集団になる

9/26 サービスワークショップ
現状を振り返る
そのときベストな対応を考える

12/5 メイク研修・プレゼンテーション研修
見られることを意識する
気配り・目配り・心配りを体現する

12/19 避難訓練・サービスワークショップ
安全・安心第一
お客様に寄り添ったサービスを考える



本日文学館研修室にて実施中

3/26 23年度の振り返りと来年度の目標設定
仮) 自己評価と全体評価の違いを知る(現在の課題から)

【4】 ① 来年度の広報取組み

平成24年度 山梨県立美術館・文学館・芸術の森公演 広報活動方針

全員広報

美術館・文学館・芸術の森公園に関わるすべての人が広報担当者として機能する
広報担当者が情報発信 ⇒ 関係者全員が情報発信

一体となった広報展開へ



賑わいの創出

【4】 ② 来年度の広報取組み

【具体的な活動案】

地域活性化

- 地元企業とのコラボレーション(相互特典導入)
- 山梨県をめぐるスタンプラリーの開催(関連イベント実施)

観光推進

- 山梨県・甲府市との広報タイアップ(イメージポスター作成)
- 県4施設(美術館・文学館・博物館・考古博物館)との協働広報
- 旅行会社・鉄道会社とのタイアップ企画(ツアー企画)

施設のファン作り

- 施設のチラシ・ポスター設置協力への特典(グッズプレゼント)
- 定期観覧券の所有者増へのアプローチ(他施設との割引制度)